

2013年3月期 事業概況

(2012年4月～2013年3月)



日本発、世界に冠たるバイオベンチャーでありたい

- 画期的な新薬・医療技術の開発で人類の健康と福祉に貢献する
- 日本の生命科学技術および産業の活性化に寄与する
- 常に時代の最先端を目指す

株主の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り誠にありがとうございます。
お陰様で、当社の中核である創薬事業の研究開発は順調に推移しております。特に、PC-SOD（吸入製剤）の特発性肺線維症治療薬としての開発に関しましては、第二相臨床試験を昨年7月に日本で、12月に韓国で開始しました。現在治療法のない疾患に関する臨床試験ということもあり、医師や患者の関心が大変高く、予定より早く本年6月には全ての患者の登録が完了しました。本年12月末には製剤投与が終了する予定です。

また、我々が考案した新しい医薬品開発戦略であるドラッグリポジショニング（DR）研究に関しましては、多くの特許を出願しました。また大手製薬企業がこの新しい研究戦略に注目し、DRのための研究所を新設するなど、急速にDRを進めています。我々はDRのリーディングカンパニーとして、大手製薬企業や国とも協力して、我が国のDRの発展を推進しています。今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



取締役会長
水島 徹



代表取締役社長
大塚 秋夫

株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、当社は前年度に連結子会社・株式会社マシンパーツ販売を会社清算したことから当期より単体決算となっております。

当社の売上高は特許切れにより厳しい状況が続いており、研究開発費を中心とする販売費及び一般管理費を賄えない営業損失状態を脱することができておりません。しかしながら、当期は配当金収入等の営業外収益が大幅に増加したことから当期純損益は116百万円の利益となりました。

研究開発状況につきましては、現在注力しております日韓共同によるPC-SOD（吸入製剤）のフェーズⅡ試験が順調に進捗しており、平成26年春には解析が終了する見込みであります。

また、既存薬の新しい効能を探し出すDR研究も引き続き積極的に推進させるなど、新たなパイプライン探索にも注力しております。

なお、当社の重要な経営課題であった損害賠償請求訴訟2件が和解により解決しましたが、第2位株主の株式会社水島コーポレーションからの無償資金提供により財務面への影響はほとんどなく、与信回復により創薬事業に一層専念できる環境が整いました。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様へ

「より一層創薬事業に集中できる環境整備に注力しています」

当社の当事業年度の売上高は67百万円(前期比10.3%増)、営業損失は493百万円(前期は営業損失457百万円)となりましたが、受取配当金等の営業外収益でこれをカバーし、経常利益は147百万円(前期は経常損失65百万円)、当期純利益は116百万円(前期は当期純損失66百万円)となりました。

また、当社の重要な経営課題となっております損害賠償請求訴訟2件が和解により終了し

たことから裁判の不確定リスクが無くなり、与信回復によって創薬事業に一層集中できる環境が整いました。

なお、和解金につきましては創業者・故水島裕氏のご遺族のご賛同を得て第2位株主の株式会社水島コーポレーションより、その87%相当額を無償で提供され、財務基盤弱体化を大幅に回避できました。

「日韓で第Ⅱ相臨床試験を開始しました」

特発性肺線維症を対象疾患とした「PC-SO D(吸入製剤)」の開発は、前事業年度より日韓共同で第Ⅱ相臨床試験(以下「治験」)の準備を進めて参りましたが、日本ではPMDA(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)の審査を経て昨年7月より、韓国においてはMFDS(食品薬品安全省)(旧名称 KFDA(韓国食品

医薬品安全庁))の承認を経て、昨年12月より治験が開始されました。

今年12月に製剤投与が終了する予定ですが、その後に試験結果を解析し、ライセンス活動を活発化させて参ります。

開発中のパイプライン

自社開発製剤

品目	基礎	非臨床	第 I 相	第 II 相
PC-SOD(吸入製剤) 特発性肺線維症	希少疾病用医薬品指定			
PC-SOD(注射剤) 特発性肺線維症、潰瘍性大腸炎				
ステルス型ナノ粒子PGE1 慢性動脈硬化、間歇性跛行他				
NSAID 炎症性疾患				
癌幹細胞分化誘導剤 癌				

共同開発製剤

品目	基礎	非臨床	第 I 相	第 II 相
PC-SOD(注射剤) 中国				
AS-013 中国 末梢血管病変				
ステルス型ナノ粒子 中国				
ステルス型ナノ粒子 旭化成 ファーマ				

2013年3月期 業績及び財務状況

2013年3月期 業績

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比	
売上高	61	67	(+10.3%)	
研究開発費	353	315	(△10.8%)	(注1)
その他販売管理費	164	245	(+48.8%)	(注2)
営業利益	△457	△493	(-)	
営業外収益	392	640	(+63.3%)	(注3)
当期純利益	△66	116	(-)	

注1 PC-SOD（吸入製剤）第Ⅱ相臨床試験の研究開発費用は依然として高水準

注2 支払ロイヤリティの急増

注3 受取配当金の増加 187百万円より535百万円への大幅増

2014年3月期の見通し

(単位:百万円)

売上高	77
営業利益	△351
当期純利益	△88

貸借対照表

(単位:百万円)

	2012年3月期末	2013年3月期末
流動資産	759	893
うち、現金及び預金	735	873
有形固定資産	3	3
投資その他の資産	54	57
資産合計	818	954
流動負債	7	22
固定負債	8	8
負債合計	15	31
株主資本	805	921
資本金	100	100
資本剰余金	701	701
利益剰余金	4	120
評価・換算差額等	△2	1
純資産	802	(注) 923
負債・純資産合計	818	954

(注) 受取配当金の大幅増加などによる営業外収益の増収効果

会社概要

コーポレートデータ

名称： 株式会社LTTバイオフーマ
所在地： 105-0022東京都港区海岸一丁目2番20号
汐留ビルディング3階
TEL:03-5733-7391 FAX:03-5733-7397
設立： 2003年（平成15年）1月
創業 1988年（昭和63年）4月
資本金： 1億円



役員

取締役会長	水島 徹
代表取締役社長	大塚 秋夫
取締役	関根 準三
取締役	謝 炳
取締役	鄭 翔玲
監査役	熊谷 鈴司

リレーション

資本・業務提携
研究委託先

北京泰徳製薬股份有限公司
慶応義塾大学
聖マリアンナ医科大学
日本大学



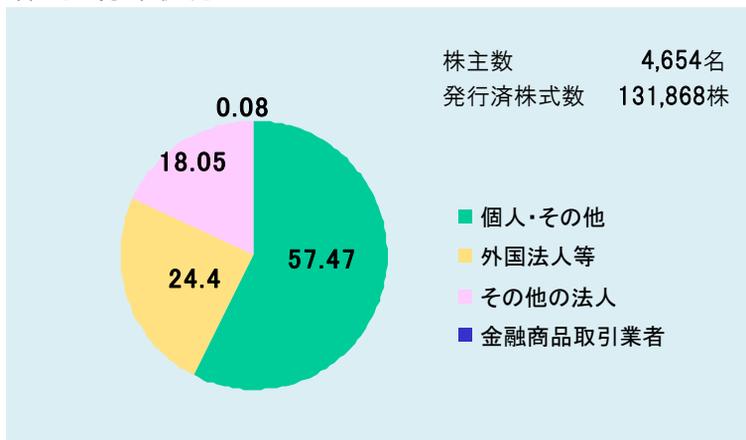
株式情報

大株主の状況

(2013年3月末現在)

氏名または名称	所有株式数	所有割合
北京泰徳製薬股份有限公司	25,320	19.20%
(株)水島コーポレーション	23,375	17.72%
外国法人	6,500	4.92%
個人	4,044	3.06%
個人	3,515	2.66%
個人	2,651	2.01%
個人	2,535	1.92%
個人	2,354	1.78%
個人	2,200	1.66%
個人	1,670	1.26%

株式の分布状況



株式情報

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〈お問合せ〉
0120-232-711
〈各種手続用紙のご請求〉
東京 **0120-244-479**
大阪 **0120-684-479**
〈お手続き〉
三菱UFJ信託銀行 本店・各支店

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.ltt.co.jp>
※ただし、電子公告によることができない
事故、その他やむを得ない事由が生じた
ときは、日本経済新聞に公告いたします。
